

みつめたみよしの
はつらっさん



▶▶▶プロフィール

ささき・こういち 昭和7年生まれ。三好丘桜老人クラブの会長。平成14年・15年度に三好丘桜区長、平成15年に立ち上げた桜ふるさとづくり協議会で、平成16年度の会長を務めた。

地域社会に貢献できる活動を

佐々木 幸一さん（三好丘桜）

今年10月に発足した三好丘桜老人クラブ「まぐら宝寿会」の会長を務める佐々木さん。「会員が余暇をうまく使えるようにクラブでお手伝いできれば」と話します。また地区の多彩な人材を生かし、娯楽や学習、相談事業などを充実させて地域社会に貢献することで、「ここで生まれ育った人が、自分のふるさととして自慢できるような地域にしていきたい」と意欲を燃やします。

佐々木さんは朝夕合わせて4kmの犬の散歩のほか、途中にある健康器具で運動をしたり、畑仕事で汗を流したりと健康そのもの。健康の秘けつを「夜にお酒を飲んでつまみを食べるため、医者のアドバイスどおり晩ご飯は食べない生活を続けています。その分、朝ご飯が美味しく感じ、しっかりと食べていますよ」と話します。これからも地域の発展のために頑張ってください。



みよっ子

三好丘中学校

女子卓球部

今回は三好丘中学校の女子卓球部を紹介します。顧問の玉置沙世先生とキャプテンの末広侑希さんに話を伺いました。



現在、1、2年生合わせて14人で活動する女子卓球部。顧問の玉置先生の指導の下、日々練習に励んでいます。部のモットーは「一球入魂」。先輩後輩の関係を大事にしながら、お互いが助け合い、全員の力を合わせて公式戦の団体戦と個人戦の両方で、まず一勝することを目標に頑張っています。「明るく元気な部ですが、普段と練習をしっかり切り替えるようにして、みんな協力してやっています。積極性や応援なども大切していきたいです」と末広さん。

練習では、どんな打球でも拾えるようにと、まずフットワークの強化に重点を置いて取り組んでいます。玉置先生は「今の楽しい雰囲気も大切ですが、やはり勝負にもこだわってもらいたいですね。やればできる子ばかりなので、自分の力を信じて挑戦してほしい」とエールを送ります。



お誕生日コーナーの応募者で希望する人は、お子さんの写真をひまわりネットワーク・ク・さんさんチャンネル「みよしTODAY」の番組の中で紹介します。

おめでとう
おたんじょうび
11月



『まじすくお兄ちゃん』
明るくて人懐っこいまーくん。初めて会う人にもあいさつしてすぐ仲良くなれるんだ。ボールや車のおもちゃで遊ぶのがマイブーム。掃除のお手伝いだってできるんだよ。もうすぐお兄ちゃんになるまーくんは「健康で思いやりのある子になつてね」とお母さん。

久野 真寛くん(新屋)
父・祐司さん 母・友栄さん
平成16年11月17日生

出場者募集

【1月のお誕生日コーナー】
▼応募期間 12月1日から5日まで(土・日曜日を除く)
▼対象 11月生まれで3歳未満の児
▼応募方法 広報情報課へ電話 ☎(32)8357
※11月生まれの応募は、12人でした。



『仲間へ遊ぶよ』
お兄ちゃん陸斗くん、海斗くん、電車のおもちゃで元気に遊ぶゆづちゃん。音楽に合わせて上手に踊れるんだ。保育園に行くときはみんなで手をつないで行くんだって。ちよっぴり食いしん坊のゆうちゃんに「優しく思いやりのある子になつてね」とお母さん。

富村 祐羽奈ちゃん(明知上)
父・尚志さん 母・由起子さん
平成16年11月19日生



Miyoshi no Bungei

俳句

星月夜煩惱洗ふ山気かな 足立 梅光
茅葺の消へし故里星月夜 原田 米子
晚酌によき枝豆の塩加減 伊豆原 やゑ
星月夜小さきくらしの灯が洩るる 渡辺 信子

短歌

犬連れる馴染みの顔の立ち話声が青田の風にのりゆく 酒井 坂栄
もう一度行きたしと思う風の盆秋の訪れなつかしきかな 鈴木 早苗
生と死のはざまただよう夫をみつ浄土を願いそつと合す掌 西山 邦子

狂俳

杜鵑草 斑入りの蒼侘び誘う 原田 里秋
ほんわか 酒が目元を染めさせる 鈴木 典章
方便 上手に其の場善処せる 林 美希

はっけよい、のこった!

相撲大会秋場所(三吉小学校)

子どもたちに日本の国技の相撲を体験してもらおうと10月20日、三吉小学校で相撲大会秋場所が開催されました。春と秋に開催されるこの恒例行事に、全学年の各クラスから勝ち上がった横綱男女28人が出場。校庭内の土俵に塩をまいて堂々と土俵入りして、全児童の声援を受けながら、力のかもった取組が繰り広げられました。男子横綱戦で優勝を飾った6年生の児童は「優勝できるなんて思いませんでした」と喜んでいました。



地域文化に触れる

アップ・ウィズ・ピープル地域活動

世界各国から集まった青年がホームステイなどで生活を共にしながら世界中を訪問し、異文化体験を通して国際交流を深める「アップ・ウィズ・ピープル地域活動」。この活動の一環として10月18日、アメリカやメキシコなど7カ国16人が三好町を訪れました。メンバーはふるさと会館の立礼席でお抹茶をいただいた後、保田ケ池力又ーポロ競技場で力又ーポロに挑戦。その後練習試合を行うなど、意欲的に三好の文化に触れていました。



公園の楽しさを再発見

公園まつり

町内の公園を広く知ってもらい、親んでもらおうと公園まつりが10月22日、保田ケ池公園で開催されました。今年で10回目を迎える毎年恒例のこの行事。会場に訪れたおよそ1,200人は、金魚すくいやリース作り、紙芝居、ディスクゴルフ体験など盛りだくさんの内容に、充実したひとときを過ごしていました。親子で訪れた母親は「気持ちの良い陽気と環境の中で、子どもと一緒に楽しめました」と満足そうでした。



さまざまなイベントを満喫

第18回三好矯正展(名古屋刑務所)

地域の人に矯正行政に対して理解を深めてもらおうと10月21日と22日の2日間、名古屋刑務所で三好矯正展が開かれました。矯正広報コーナーでは、受刑者が生活している居室の実物大模型を展示。また家具や陶器、雑貨などの刑務所作業製品の展示即売、小中学生によるマーチング演奏などさまざまなイベントが実施されました。刑務所作業として実際に行われている七宝焼の製作体験には行列ができ、多くの人でにぎわっていました。



命を大切にする心をはぐくむ

金魚つかみ(わかば保育園)

園児たちに小動物の世話と観察を通して、命を大切にする心をはぐくんでもらおうと10月26日、わかば保育園で金魚つかみが行われました。初めに先生が、絵を描いたボードで金魚を傷付けられないようにすくう方法や飼育方などを説明。その後全園児およそ150人が、プールに放流された800匹の金魚のつかみ捕りに挑戦しました。園児の一人は「名前を付けて、毎日餌をあげるの」と大切そうに金魚ばかりを抱きかかえていました。



国際交流の輪を広げて

MIAフェスタ2006

MIAフェスタ2006が10月22日、サンアートで行われました。さまざまな国際交流団体の活動紹介や世界の料理の模擬店、各国の民族衣装の試着など多くの趣向を凝らしたこのイベント。来場した人たちは、普段なかなか味わうことのできない異文化体験を堪能しました。また、主催した三好国際交流協会が財団法人設立10周年を迎え、記念式典を同時に開催。これまで国際交流の発展に尽力された8組の皆さんが表彰されました。

